

(学年) 第1～4学年, (教科・科目) 家庭・家庭総合

一斉学習

(単元) 住生活

(本時のねらい)

ライフステージの特徴や課題に着目し, 住生活の特徴, 防災などの安全に配慮した住居の機能について科学的に理解し, 住生活の計画・管理に必要な知識・技能を身につける。

(ICT活用方法)

阪神大震災や東日本大震災など周期的に起こる巨大地震に対して一人ひとりが日頃から意識して備えることにより, 減災することが可能となる。残された記録映像や過去のデータを元に作られたグラフなどから自分の身にも災害は起こる可能性があり, どのように備えるか考えるため, ICTを活用した授業計画を立てた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・ 東日本大震災時の動画を視聴する。	・ 東日本大震災時の動画を見せ, 災害は身近にあると気づかせる。	・ 教員端末で動画を電子黒板に投影する。
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国の災害発生状況と特徴を知る。 ・ 地域で起こりうる自然災害の可能性について考える。 ・ 災害に遭遇したらどのように行動を取れば良いか具体的に考え, 防災や減災について理解を深める。 ・ 災害が起こったときのある程度の準備をする等心構えをしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 我が国で起こる自然災害について概要を知らせる。 ・ 南海トラフ地震を想定して, ワークシート「そのときあなたはどうする」に生徒の考えや取るべき行動を記入させ適切な行動を考えさせる。 ・ 生徒一人ひとりが日頃から災害に備え心構えをすることにより, 減災できることを知らせる。 	・ 授業支援アプリでワークシートを生徒1人1台端末へ配付する。
まとめ 5分	・ 自分にできる災害への備えをまとめ, 他者の	・ 生徒が考えた災害への備えをまとめ, 全体に示す。	・ 教員端末で授業支援アプリで選んだ

	意見を聞く。 ・ 次回の予告を聞く。	・ 次回の予告をする。	生徒のワークシートを電子黒板に投影する。
--	-----------------------	-------------	----------------------

(授業等の様子)



教材準備



スクーリングの様子

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

まとめのところで，生徒の意見を集約して提示するのに時間がかかると思われる。

まとめの時間をスムーズにし，生徒一人ひとりの意見の共有を図るために授業支援アプリの活用に慣れ，ワークシートに記入した生徒の意見を素早く提示できるようにしたい。

教師が提示した問題点に対して考える事はできているので，それ以外の問題点もあることを気づかせ，各家庭に持ち帰って実践できるよう思考を広げていきたい。